

おれんじ通信

知って支える認知症

37



管理栄養士

の関わり②

認知症の方の介護者からの「あまりご飯を食べてくれない」とい



い」という相談は少なくありません。食事摂取量が減ってくと低栄養状態となり、倦怠感などの症状が現れることがあります。

管理栄養士は本人の気持ちに寄り添い、食べない原因を推察して、栄養状

態改善のために食べやすい形態やとろみの濃度調節、適量の補助食などを提案します。また、認知症の方は周りのことに気を取られ、不安が高まって集中できないことがありますので、食事中の環境にも配慮が必要です。通院が困難な高齢

者は介護保険のサービスを利用して、管理栄養士による訪問栄養指導を受けることもできます。困ったことがあれば、かかりつけ医や担当のケアマネジャーにご相談ください。

◇ おれんじ通信への意見をお寄せください。

◇ 地域包括ケア推進課 06(4309)3013、FAX 06(4309)3814